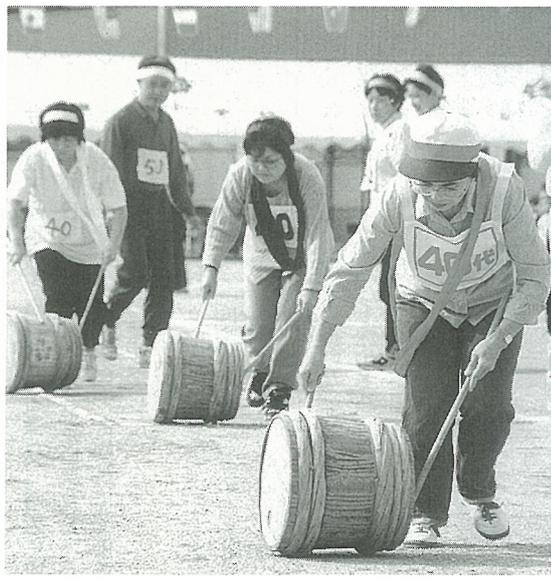


秋の青空に響いた大歓声

最後まで接戦が続いた分館対抗



当日は、さすがに晴れの特異日「体育の日」だけあって、ぬけるような青空、汗ばむような陽気のもと、竜丘地区市民運動会が多くの区民の参加を得て竜丘小学校校庭で盛大に行なわれました。

一般種目の「かけっこ」が始まり元氣一杯の走りが見られるようになると、いつの間にか観客も増え、最初の分館対抗種目の「メドレーリレー」になると活気にあふれた応援があちらこちらであがりだし、応援合戦にも熱が入り始めました。

恒例のメドレーリレーは十一種類の競技を百四十名の選手が皆さんがたすきでつなぐ、トラック競技ありフィールドでのリレーあり、校庭全体を使った大掛かりな種目で、途中何度も抜きつ抜かれつで応援団も手に汗を握る競技でした。

今年も、新しい種目や興味にひと工夫、趣向をこらした種目があり新鮮さが感じられ、なかでも壮年団員とその家族で行なわれた「早く長く親子で協力」は、昨年までとは違った競技で、家族で協力し早く長く縄を結ぶ夫婦の体力と子供の運を争う見ている方も楽しい内容で、競技が進むにつれ、

午後に入り競技が進み、ふと回りを見まわすと五人の列ができ、かけ声と共にむかでの練習がもう始まっていた。大なわとびを終え得点板を見ると時又がトップその後を駄科、上川路が追い、年次むかでの勝敗により、総合優勝が変わってしまったため、全員が総立ちでの大応援となり、校庭のながびとつにまよっていているのを体で感じる事ができました。

結果は、駄科と上川路が全種目を終え同点となり、一位の種目が多くあった駄科分館が優勝し、上川路の連覇をはばみました。今年も多く参加者が楽しめる種目作りがされ、な

あちらこちらから選手の悲鳴と、明日の筋肉痛のことも忘れ必死に走る親の姿に思わず大歓声が上がっていました。

今年度で二十回を数える竜丘地区市民大学講座の第二講、第三講が、公民館を会場に開催されました。十月二十五日に開催された第二講では、伊那谷自然友の会会長、北城節雄さんを講師に招き「竜丘の自然が私たちに語っている」と

ごやかな運動会となりまし「通りでした。大会役員、体育部員の皆さんを始め、準備、進行に携わった皆さん大変ご苦労様でした。



第三講 竜丘の自由画

※順位と最終得点は次の通りです。
優勝 駄科 八十九点
準優勝 上川路 八十九点
三位 桐林 八十四点
四位 時又 八十三点
五位 長野原 六十九点

また、生産する側もリサイクルしやすい素材に切り替えていってもらえれば、限りある資源を有効に活用していけるでしょう。今の時代は、私達の育ったころと比べて、物は豊かで便利になっていきますが、生活をしていく上での環境はかえって悪くなっているように思えます。次の世代のために、より良い生活環境を残してあげたいものです。

十一月二十五日に開催された第三講では、緑ヶ丘中学校校長の北原更一さんを講師に招き「竜丘の自由画教育ってどんなもの」と題し、大正時代を中心に信州の図画教育で先駆的役割を果たした木下紫水の足跡について学びました。

また、生産する側もリサイクルしやすい素材に切り替えていってもらえれば、限りある資源を有効に活用していけるでしょう。今の時代は、私達の育ったころと比べて、物は豊かで便利になっていきますが、生活をしていく上での環境はかえって悪くなっているように思えます。次の世代のために、より良い生活環境を残してあげたいものです。

好 友 会

(ハオユウカイ)

中国帰国者とのふれあいを求めて

中国帰国者のための日本語学級への取組みが昨年度から始まり、いよいよ実際に運営委員の皆さんの手で作られる協働プログラムです。その名称は「好友会（ハオユウカイ）」。「普通の友達以上に大切な友達」という意味だそうです。

この好友会を通じて、地域で生活を共にする仲間と心配になってしまいませんか。心配といえば、知らないうちに私達の体をむしばんでいるダイオキシンのこと、塩化ビニール系の物を燃やすと発生するダイオキシン

十二月に入り、まわりの高い山には雪のたよりの聞かれるころになり、里に雪が降るのももうすぐでしょう。ここ数年、エルニーニョ現象の影響なのか異常気象がつついており、これから地球はどうなっていくのか心配になってしまいませんか。心配といえば、知らないうちに私達の体をむしばんでいるダイオキシンのこと、塩化ビニール系の物を燃やすと発生するダイオキシン



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	6,845人
男子	3,367人
女子	3,478人
世帯数	2,065戸
(10年11月末現在)	

手作り文化とスポーツの祭り ずらりと並んだ作品の数々



見事な作品にしばし足を止め

初日グラウンドでは、昨
年残念にも雨で中止となっ
たキックベース大会が、小
学生二十チームの参加によ
り行なわれました。低学年
と高学年に別れ一チーム六
人でそれぞれ試合をしまし
たが、練習不足からか、な
かなかアウトにならない場
面や、ボールのかわりにく
つが飛ばずハブニングもあ
りました。しかし、子供たち
の真剣なプレーに応援の声
も沢山あがりました。
展示会場となった体育館
北側には、「上川路菊の会」

- ◇ 今年の天候不順を忘れさせる様な、晴天に恵まれた十一
- ◇ 月十四日、十五日に「竜丘地区文化祭」が、第四回を迎
- ◇ えた「竜丘スポーツ祭」と同時に開催され、多くの人が
- ◇ 文化の秋を満喫しました。

の皆さんが、日頃から丹精
こめて作られた見事な菊が
訪れた私たちを迎えてくれ
ました。
竜丘地区文化祭の垂れ幕
の掛かる会場には、地区民
の学習、文化活動の成果が
所狭しと並べられ、意識の
高さが感じられました。

分館展示の中では、長野
原が手持ちの花火の筒を展
示し、同時に「長野原煙火
会」による、夏祭り手作り
花火大会の様子が上映され
ており、しばし足を止めら
れました。

竜丘郵便局のコーナーで
は、昨年同様に絵手紙教室
が開かれ、壁に張り出され
た絵手紙を手に熱心な講
座となりました。また、珍
しい切手の展示と販売も行
なわれました。

スポーツ祭の二日目は、
午前中に体育館でクロリテ
ィとダーツ、午後にはグラ
ウンドでベタンクが行なわれ

ました。
それぞれ場
所をとらず、
気軽に出来る
ニュースポ
ーツとして、馴
じみが深くな
りつつあり、
参加者も増加
傾向だそうで
す。ちなみに
ダーツの最高
得点は、どこ
で練習したの
か、山浦正芳
小学校々長で
した。

民俗資料館保存委員会は、
発刊したばかりの「続々、
丘の語部たち」とぼしき道
を心豊かに「」の販売を行
なう他、例年どおり、民俗
資料館を開放しました。
さらに、駄科北平マネー
ジメント推進会議による、
竹炭と竹酢液の展示・販売
といった珍しいコーナーが
あったほか、商工会竜丘支
部による餅・宝投げ、ボラ
ンティアの会によるバザー、
婦人会による喫茶コーナー

今年度も、四月から始ま
った早起野球、夜間ソフト
ボール、夜間バレーボール
が終了しました。
早起き野球は、仕事に出
掛ける前の試合とあって、
チーム数も減少傾向ですが、
さいわい大きなケガもなく
日程を終了しました。結果
は次のとおりです。

優勝長野原、二位モン
ター、三位ギューチュー、
四位シャット、五位カルビー、
六位ダックスでした。

夜間ソフトボールは、一
日の仕事を終え疲れている
中での試合ですが、雨で日
程が遅れる中、実力伯仲の
大混戦となりました。

優勝久保尻、二位ダシッ
クス、三位ベアーズ、四位
シブホース、五位松葉、
六位球道会、七位高島建設
八位長野原、九位グローリー
時又でした。

夜間バレーボールは、忙
しい仕事、家事、育児の時
間をやりくりして集まる事
もあり、熱戦の中にも和気
あいあいとした雰囲気感が
感じられました。

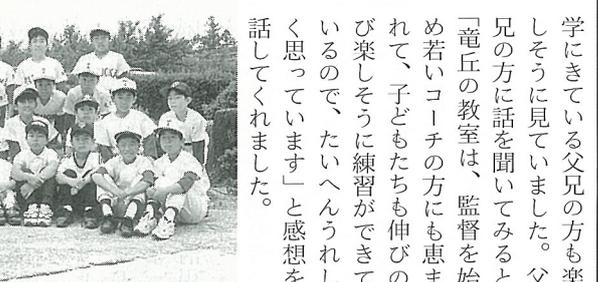
優勝さくら、二位ひまわ
り、三位ドリームズ、四位
ミラクルズ、五位ファミリ、
六位パワーズ、七位レイ
ンボー、八位フレンズ、九位
ナイスミドルズ、十位青年
会でした。



ねらえ ホームラン

二十周年をむかえました 竜丘少年野球教室

昭和五十二年に青少年の
健全育成を目的として発足
した竜丘少年野球教室が二
十周年をむかえ、記念事業
(記念大会、祝賀会、記念
誌発行)が行われました。
記念大会は、他地区を招
待して、合計八チームで戦
い、優勝は逃したものの準
優勝でした。祝賀会には七
十名ほどの出席者があり、
盛大に行われました。
また記念誌「二十年の歩
み」は、歴代指導者からの
メッセージや、年次ごとの
様子と卒業生名簿が記載さ
れ、広告などは一切集めず
内容のある立派なものです。
長野県青少年育成県民会
議からは、二十年間続いて
いるということで表彰を受
けました。



学にきている父兄の方も楽しそうに見ていました。父兄の方に話を聞いてみると「竜丘の教室は、監督を始め若いコーチの方にも恵まれて、子どもたちも伸びのび楽しんで練習ができていますので、たいへんうれしく思っています」と感想を話してくれました。

公民館活動を学びに 浜松の視察団来飯

去る十月二十六日、竜丘
公民館の視察に浜松市教育
委員会の方々がお見えにな
りました。

メンバーは、生涯学習ボ
ランティアの登録者三十九
名と引率職員二名からなり、
公民館事業への住民参画の
現状についてということに
特に当公民館の現状を見に
来られました。

対応に当たったのは飯田
市公民館副館長、竜丘公民
館長をはじめ専門委員会と
して文化、体育、広報の各

委員長、大人の学校の運営
委員長、公民館主事です。
それぞれ昨年の活動記録
を見ながら活動の現状と、
住民の参加の状況を発表し、
お昼にそれぞれ食事をしな
がらグループに分かれて活
発に意見交換が行われま
した。

とりわけ関心の高かった
のは大人の学校についてで
した。この活動は当公民館
の大きな特色のひとつです
が、運営の仕方や参加の仕
方、バラエティーあふれる
講座の数々、クラブ活動の
ア活動全体の

交流会のひとつ



状況など熱心に聞き入って
いました。
質疑や食事中の交流会の中
でやはり質問が出たのは
各事業の参加者が年々減っ
ているのではないか、とか
事業自体が委員の負担になっ
ていないかな
どです。

各スポーツクラブ シーズン閉じる

今年度も、四月から始ま
った早起野球、夜間ソフト
ボール、夜間バレーボール
が終了しました。
早起き野球は、仕事に出
掛ける前の試合とあって、
チーム数も減少傾向ですが、
さいわい大きなケガもなく
日程を終了しました。結果
は次のとおりです。

優勝長野原、二位モン
ター、三位ギューチュー、
四位シャット、五位カルビー、
六位ダックスでした。

夜間ソフトボールは、一
日の仕事を終え疲れている
中での試合ですが、雨で日
程が遅れる中、実力伯仲の
大混戦となりました。

優勝久保尻、二位ダシッ
クス、三位ベアーズ、四位
シブホース、五位松葉、
六位球道会、七位高島建設
八位長野原、九位グローリー
時又でした。

夜間バレーボールは、忙
しい仕事、家事、育児の時
間をやりくりして集まる事
もあり、熱戦の中にも和気
あいあいとした雰囲気感が
感じられました。

優勝さくら、二位ひまわ
り、三位ドリームズ、四位
ミラクルズ、五位ファミリ、
六位パワーズ、七位レイ
ンボー、八位フレンズ、九位
ナイスミドルズ、十位青年
会でした。

火の取扱い に注意



小林分団長

竜丘地区においては、今
年五月の駄科駅舎の火災を
はじめとして、数件の火災
が発生しました。約二年続
いた無火災もとぎれてしま
いましたが、火の恐さを再
認識させられました。
生活がより便利になるほ
ど火を使う器具も多様化し、
水と同様、生活する上でな
くなくてはならないものです。
そして、家事・風呂・たき
火等、取り扱い方次第では
火災を起こす事になりかね
ません。
これから寒い季節を迎え
るにあたり、ご家庭では特
に暖房器具の台数も日に日
に増え、火を取り扱う事が
多くなりますので次の点を
ご注意していただきたいと
思います。

- 一、暖房器具の取扱い。
- 二、風呂の空炊き。
- 三、天ぷら火災。
- 四、たき火の消火確認。

以上四点が主なものですが、
加えて子供たちが火遊びを
しないよう注意、指導して
いただきたいと思います。
火は全ての物を灰とし、
何も残りません。火のそば
を離れるときは、「必ず火
を消す」という習慣を身に
つけましょう。

最後に本年度の標語は、
「気をつけて はじめは
すべて 小さな火」です。
皆様の御協力をお願い致
します。